

## 第4次八女市総合計画に基づく

# 26年度の主な新規事業は

### ※都市圏アクセス環境整備事業 7224万円

八女市と福岡都市圏を直接結ぶ唯一の公共交通機関である高速バスの利便性を向上させるため、高速バス八女インターバス停の移設改良等に着手し、利用者の快適性、利便性を飛躍的に高め、定住促進、交流人口増、地域活性化を図る。※25年度繰越事業

### 再生可能エネルギー事業 7902万円

再生可能エネルギーを普及させ、その活用を促進するため、災害避難施設や地域の公民館に太陽光発電システムなどを整備する。

### 雇用促進住宅改修事業 1億2600万円

老朽化した市営住宅の代替住宅及び若者や子育て世帯、高齢者、低所得者等の住宅を確保するため、雇用促進住宅「八女(蒲原)宿舎」を購入する。

### 茶のくに観光バス運行事業 367万円

市内に点在する観光スポットを定期的に運行する周遊バスで繋ぎ、八女の自然・歴史・文化など四季折々のコースを選定し、予約制の日帰りバスツアーを行う。

### 地域間交流施設整備事業 2500万円

市東部地域に廃校を活用し避難所を兼ねた合宿・研修施設を整備する。また、国道沿いに広域観光、登山客などを対象とした休憩施設を整備する。

### 伝統工芸等継承者育成事業 300万円

市内に存在する伝統工芸品等の技術・技法を後世に継承し、習得した技術・技法を活かして将来的には地元での就業や開業につながるよう研修者や指導者に対して奨励金を交付する。

### 子育て相談事業 281万円

八女市子育て支援総合施設において、乳幼児の子育てに不安や悩みを持つ保護者等がいつでも気軽に相談できるよう「子育てなんでも相談」として来館による相談、電話及びメールによる相談を行う。

### 八女Uターン子ども応援手当事業 900万円

八女市に転入した子どもの小・中学校、保育所、幼稚園等に係る費用を軽減するため転入児1人あたり3万円の「八女Uターン子ども応援手当」を支給する。

※Uターンとは進学や就職によって一旦転出した出身者等が、出身地に帰って定住すること。

Iターンとは都市部から地方に移住すること。

## 閉校となった小学校の 屋内運動場を新たに 体育施設として活用

### 提案理由

学校統合により閉校となっている八女市立花町の旧白木小学校、旧上辺春小学校及び旧下辺春小学校の屋内運動場と、本年3月で閉校となる八女市黒木町の木屋小学校、笠原小学校及び大淵小学校の屋内運動場を新たに体育施設として利用するため条例の規定を整備するもの

**問** 同じ八女市になったのだから同じような施設は同じ料金であるべきだと思

**答** 将来的には統一した料金にしなければならぬと思うが、全体を見直す時に統一していきたい。

**問** 白木、上辺春、下辺春体育館と木屋、笠原、大淵体育館では料金が違うが、この根拠は。

**答** 黒木町については、学校施設の利用に関する条例をそのまま運用している。立花町については、合併前の使用料を準用している。

施設名	1時間あたり基本額	
	午前9時から午後5時まで	午後5時から午後10時まで
木屋体育館 球技場	140円	210円
笠原体育館 球技場	140円	210円
大淵体育館 球技場(全面)	280円	420円
	球技場(片面)	140円
白木体育館 球技場	110円	160円
上辺春体育館 球技場	110円	160円
下辺春体育館 球技場	110円	160円

### 提案理由

上陽保健センターで行っていた事業が、合併により他の施設において実施できるようにになり、また、建設からすでに31年が経過し、維持管理費がかさむことなどから平成26年3月31日をもって、上陽保健センターを廃止するため、条例の一部を改正するもの

**問** 今後、どの施設で事業が行われるのか。保健センターの中には機械・器具などもあったと思うが、どうされるのか。

**答** すべての事業を農業活性化センターで行うことになっている。機器関係については、施設も含め今後必要なことにお聞きして、使えるものについては有効活用していきたい。

## 上陽保健センターを廃止、 事業は農業活性化センターへ

### 提案理由

一昨年の九州北部豪雨災害の際、町内の保育所が被害を受け、1か月程保健センターを使用された。今後、そのようなことがあった場合はどう対応されるのか。

**答** 1か月程保健センターを利用しての保育が行われたが、もし同様の状況になり、代替施設のご相談があった場合は、公民館や農業活性化センターを利用させていただくことは十分可能であると考えている。

### 事業の内容は。

現在、パークアンドライド駐車場から上りバス停まで550メートル程の距離があるため、移転改良するための予算である。

**問** 具体的な料金を出して、上り車線入り口の下に横断ボックス(トンネル)を新設し、新たなバス停を造ることで、現在の位置から約90メートル北(福岡方面)に移すことにより、パークアンドライド駐車場から約250メートルの距離になる。

また、上り・下りとも急な階段なので、勾配の緩い斜路付の階段を設けること、

## 高速八女インター 上りバス停を移転



この事業については25年度補正予算で計上している

が26年、27年の継続事業となる